

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌



『この世界の片隅に』 70年と100年と伝え続けたい

▷公式サイト <http://www.konosekai.jp/>
 画像 ©この史代・双葉社/『この世界の片隅に』製作委員会

今、振り返る 市民と共に歩むアニメーション映画の軌跡

待ち望まれて誕生したアニメーション映画『この世界の片隅に』。2016年11月の公開以来、多くの人々に感動を与え続け、作品への熱い支持の輪はますます広がっています。

本誌では、これまでも『この世界の片隅に』の情報をお伝えしてきました。『この世界の片隅に』という素晴らしい作品を、これからも永く伝え続けるために、作品とこれまでの広島や呉での支援の動きを中心にあらためてご紹介します。

広島メディア芸術振興プロジェクトと作品との関わり

アニメーションを含めた映像、CG、ゲーム、マンガなど多様な表現分野は「メディア芸術」とも呼ばれます。広島市でもメディア芸術の素地は、広島国際アニメーションフェスティバルの開催やまんが図書館、映像文化ライブラリーなどで培われてきました。こうした素地を活かしながら、2011年から広島市の声掛けにより、市内の大学、専門学校、市民団体等が連携して「広島メディア芸術振興プロジェクト」を発足させ、まちの賑わいや交流人口の増加、コンテンツ産業の育成などを目指しながら、メディア芸術の振興や人材育成等に向けた取り組みを進めています。

メディア芸術振興プロジェクトでも、『この世界の片隅に』の応援を続けてきました。その始まりは2012年8月。広島国際アニメーションフェスティバル応援イベント～広島あにこむ2012（2012年8月18日（土）～8月19日（日）、

広島市南区民文化センター）の会場に片淵須直監督が来場され、広島出身の漫画家この史代先生原作の『この世界の片隅に』のアニメーション映画制作開始ポスターが公開されました。これを見た私たち広島メディア芸術振興プロジェクトのメンバーも大興奮。広島から何とか映画化を応援できないだろうかと模索をはじめました。その後、同プロジェクトによる様々なイベント等で『この世界の片隅に』のアニメーション映画化の最新の動きをお伝えしたり、片淵監督、この先生をお迎えしての講演会やワークショップを開催したりなどの活動を積み重ねてきました。

『この世界の片隅に』というアニメーション作品は、綿密な時代考証から醸し出される当時の日常生活の圧倒的なリアリティが画面の隅々にまで息づいています。

2014年、被爆建物として知られる旧日本銀行広島支店の建物を会場に第15回広島国際アニメーションフェスティバル100日前イベント「アニメーション・まんがアート展」(2014年4月26日(土)～5月5日(月/祝))を開催。その中の「調べて描くアニメーション映画『この世界の片隅に』の世界展」で制作中の背景画や考証、キャラクターデザインの一部が紹介されました。また、5月3日(土)に片淵監督のトークライブも開催。片淵監督による綿密な時代考証や数多くの現地取材の成果をお聞きしながら、私たちの中でこの作

品がすごいものになるという予感が確信になりました。『この世界の片隅に』という素晴らしい作品を一人でも多くの人に知って頂きたい、観て頂きたいという目標から、その後も同プロジェクトでは様々な取り組みを続けてきました。



片淵須直監督トークライブの様子
2014年5月3日

広島メディア芸術振興プロジェクトの取り組み

広島あにこむ

▶ 広島あにこむ 2012

【日時】2012年8月18日(土)～8月19日(日)

【場所】広島市南区民文化センター

制作開始ポスター初公開

▶ 広島あにこむ 2013

【日時】2013年11月30日(土)～12月1日(日)

【場所】広島市南区民文化センター

広島地域コンテンツコーナーにて新ポスター2枚

(すずさん&重巡青葉)公開

▶ 広島あにこむ 2014

【日時】2015年3月28日(土)～29日(日)

【場所】広島県 広島市南区民文化センター

クラウドファンディングチラシを総合受付設置およびイベント

プログラムへの挟み込みにて配布

広島国際アニメーションフェスティバル関連イベントなど

▶ 第15回広島国際アニメーションフェスティバル100日前イベント

「アニメーション・まんがアート展」

【日時】2014年4月26日(土)～5月5日(月/祝)

【場所】旧日本銀行広島支店

広島関連作品・作家展として、「調べて描くアニメーション映画『この世界の片隅に』の世界展」(片淵須直氏関連展示)

5月3日(土)14:00～片淵監督トークライブ

▶ 第16回広島国際アニメーションフェスティバル100日前イベント

「アニメーションで蘇る～この世界の片隅に～広島展」

【日時】2016年5月1日(日)～5月5日(木/祝)

10:00～18:00

【場所】旧日本銀行広島支店

5月3日(火・祝)13:00～

トークライブ『この世界の片隅に』とコンテンツツーリズム

登壇：広島フィルム・コミッション 西崎智子氏、

NPOくれ街復活ビジョン 中村誠氏、

広島商船高等専門学校 風呂本武典准教授

司会・聞き手：NPO 法人広島アニメーションシティ事務局長

谷口重徳

▶ アニメーションの夏を楽しむイベント「古民家ギャラリー草でアニメーションGO!」

【日時】2016年8月11日(木・祝)13:00～20:00

【会場】古民家ひろしま Gallery 草 sou(広島市佐伯区五日市町石内)

『この世界の片隅に』パネル展、『この世界の片隅に』PRビデオ上映

広島ゆかりの作家、作品展(日本マンガ学会関連事業)

▶ 日本マンガ学会関連事業「広島メディア芸術振興プロジェクト～広島ゆかりの作家、作品展」

【日時】2015年6月27日(土)～6月28日(日)

10:00～18:00

【会場】JMSアステールプラザ1階市民ギャラリー

・文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞受賞者記念対談

【日時】2015年6月27日(土)10:00～11:30

【出演】近藤ようこ氏、こうの史代氏

【会場】JMSアステールプラザ1階市民ギャラリー内特設ステージ

・「この世界の片隅に」(原作：こうの史代)アニメーション映画化記念片淵須直監督トークショー

【日時】2015年6月28日(日)13:00～13:50

【出演】片淵須直氏

【会場】JMSアステールプラザ1階市民ギャラリー内特設ステージ

比治山大学 片淵監督講演会、展示

▶ 比治山大学 特別講演「アニメーション監督 片淵須直の世界」

【日時】2013年9月1日(日)13:30～15:00

【場所】比治山大学10号館(学生会館)5階 多目的ホール

【定員】200名

『この世界の片隅に』のミニPVを上映。ロビーで片淵監督のこれまでの作品の資料を展示紹介



「調べて描くアニメーション映画『この世界の片隅に』の世界展」
2014年4月26日～5月5日



片淵須直監督トークライブ
会場の様子
2014年5月3日



「この世界の片隅に」アニメーション映画化記念
片淵須直監督トークショー
2015年6月28日



文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞受賞者記念対談
原作者のこうの史代氏
2015年6月27日

● 「この世界の片隅に」を支援する呉・広島のはじまりの日

2012年5月下旬、広島商工会議所の会議室で15名ほどの会合が設けられ、その場にNPO申請まもない広島アニメーションシティ理事の私も席をいただいています。



正面に座るのは片淵須直監督と丸山正雄プロデューサー。今となつては説明する必要もない、映画「この世界の片隅に」を創られたお二人。

片淵監督は「しっかり取材して空想をできるだけ排除して描こうと思う」と、丸山プロデューサーは「映画という創作物には勝手に作っていい部分と勝手に作ってはいけない部分がある」と、映画作りへの想いを語られます。また、観る人のための“下からの映画”、“俺たちの映画”として、一人でも多くの人に様々な形で参加してもらえる映画にしたいと話されます。

振り返れば、製作の当初から、この作品は全くブレてないのです。

その前年より監督のロケハンに協力していた広島フィルム・コミッションの呼び掛けによってここに集まったメンバーを中心に、「この

世界の片隅に」を支援する呉・広島のが結成され発会するのは、3年後の2015年6月3日。映画公開は、さらに1年半後の2016年11月12日。

この会合の日から、各自それぞれの立場で「この世界の片隅に」応援団としての長い長い活動が始まりました。

監督の現地調査や当時を知る人への取材の手助け、映画製作の最中から舞台めぐりをする稀有な探検隊イベントの実施、広島市内公民館などでの地道な紹介パネル展示の継続、食に関する映画祭での野草料理の紹介、果ては個人で地元お好み焼き屋にポスターを貼って回る…などなど。

支援する会の映画製作支援活動について詳しくは、次号でご紹介しようと思います。



◎この時代・双葉社 / 「この世界の片隅に」製作委員会

松浦 妙子

NPO 法人広島アニメーションシティ 理事

「この世界の片隅に」を支援する呉・広島のはじまりの日 世話人

● 作品の舞台への想い

近年、アニメーション作品の中には現実の場所や景観を忠実に再現したものも多く、ファンが作品に登場する場所を実際に訪れる「舞台探訪」「聖地巡礼」という楽しみ方も普及しています。呉や広島はもちろん、全国各地の舞台探訪で活躍されているRONさんからご寄稿をいただきました。

舞台の場所へのこれまでにないほどに誠実な態度

最近アニメーション作品の聖地となった場所というのも珍しくなくなりましたが、その中でも『この世界の片隅に』の聖地となった呉ほど幸せな聖地もなかなかないのではないのでしょうか。

『この世界の片隅に』が他の作品の聖地と決定的に違うのは、現代ではなく昭和9年から昭和20年にかけての広島、呉が作品の舞台となっていることです。現在の風景を描くのと違い、当時の風景を描くためには綿密な時代考証が必須となります。そしてそれは、単に当時の背景のみならず、その土地の持つ歴史や文化、風俗もまた画面の中に収めていることに他ならないのです。



呉ポポロシアター内の風景

無論、舞台を描くためのハードルは通常の作品作りより遥かに高くなりますが、この先生と片淵監督の

知識と熱意はそれさえも乗り越えて、激動のさなかにあった昭和20年の呉を聖地にしてみました。それは、単に背景素材にすぎない扱いを受けることも珍しくない昨今の聖地のあり方に対する強烈なアンチテーゼであるとともに、舞台となる場所に対しこれまでにないほどに誠実な態度ではないかと一探訪者として感じます。



呉ポポロシアター内の風景

そして、製作陣や配給会社の努力はもちろん、この作品を見たいという多くの人の協力があってこそ、この作品は広く世に出ることができたという事実も忘れてはなりません。そんな作品の聖地となった呉ほど、幸せな聖地はないと思うのです。



ファンの感想コメント (呉ポポロシアター)

RON@ 舞台探訪者コミュニティ

巡礼系合同誌「探訪路」の制作統括や、艦これ巡礼ガイド「提督の探訪」の制作をしている巡礼系同人作家。

評論・巡礼サークル「Nippak」共同代表

Report ぶち!! ひろしまゲームスタジアムII 総合学園ヒューマンアカデミー広島校

2017年2月11日(土・祝)、総合学園ヒューマンアカデミー広島校(広島市中区鉄砲町)では昨年に引き続き、「広島からゲームクリエイターを生み出すイベント」として、「ぶち!!

ひろしまゲームスタジアムII」を開催。本イベントは、広島市の学生であれば誰でも参加可能なオープンイベントで、ゲーム業界を目指す学生が作品を持ち寄り展示。また、セガ・インタラクティブやスクウェア・エニックスといった大手ゲーム企業所属のクリエイターによる特別セミナーも同時に開催。今年は100名を超える学生や関係者が参加。ゲーム制作を勉強する学生同士作品をプレゼンしたり、プロのクリエイターによる作品添削を受けた。また、セミナーにも朝から50名を超える学生が参加。広島市のゲーム産業界を盛り上げる一日となった。



会場の様子

◆ Event Information

ひろしま映像ショーケース 広島国際アニメーションフェスティバル応援事業～広島メディア芸術振興プロジェクト～

広島国際アニメーションフェスティバル応援事業として広島市映像文化ライブラリーが開催する『ひろしま映像ショーケース』。3月11日(土)には昨年8月に実施した同フェスティバルの受賞作品を上映。また、同日には『広島生まれのアニメーション』と題し、広島でアニメーション制作を学ぶ学生・生徒の作品も上映されます。3月12日(日)には『広島生まれのドラマ』と題し、広島ゆかりの映像作家や大学生による映像作品が上映されます。



『空き部屋』 ダヒ・チョン / 2016年
第16回広島国際アニメーションフェスティバル・グランプリ
© 2016. Jeong Dahee all rights reserved

3月11日(土)13:00～ **3月12日(日)13:00～**
▶『第16回広島国際アニメーションフェスティバル受賞作品』 ▶『広島生まれのドラマ』
▶『広島生まれのアニメーション』

【日時】2017年3月11日(土)13:00～/3月12日(日)13:00～ 【会場】広島市映像文化ライブラリー2階ホール
【主催】広島市、(公財)広島市文化財団(広島市映像文化ライブラリー) 【入場料】無料 【問い合わせ】広島市映像文化ライブラリー 082-223-3525

▶第16回広島国際アニメーションフェスティバル関連展示

【期間】2017年3月11日(土)～3月12日(日) 【会場】広島市映像文化ライブラリー 2階

福屋屋上プロジェクト「星降る夜の卒業式」

株式会社福屋と広島市は地域の活性化等を図るため、包括提携協定を締結しています。福屋八丁堀本店の屋上を文化の発信基地として活用する『福屋屋上アートプロジェクト』と、広島国際アニメーションフェスティバルの開催や文化・メディア芸術の振興を図る『広島市』が連携して、初めてプロジェクト等によるイベントを開催します。



【事業名】広島国際アニメーションフェスティバル応援事業 福屋屋上プロジェクト「星降る夜の卒業式」
【日時】2017年3月18日(土)/19日(日)17:00～20:00(雨天中止) 【入場料】無料
【会場】福屋八丁堀本店 9階屋上 八丁堀SORALA
【主催】星降る夜の卒業式開催委員会(株式会社福屋、広島市、AAIひろしまPLAN)
【協力】広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、(公財)広島市文化財団、広島県理容美容専門学校
広島国際学院大学、比治山大学短期大学部、エディオン横川店
【URL】<http://sorala.jp/art/> 【問い合わせ】福屋八丁堀本店 082-246-6111(代)

手塚マンガを解む ～『ブッダ』『火の鳥<鳳凰編>』ほか～

広島国際アニメーションフェスティバル応援事業として、手塚治虫のマンガを新たな視点でよみとき、その魅力を知るイベントを開催します。

3名のパネリストがパネルディスカッションを行い、手塚治虫のパーソナリティーや、手塚マンガに描かれる「妬み」「許し」「死生観」は「仏教」ではどう解釈できるのか?!など、手塚マンガを読み解くヒントに迫ります!!



【パネリスト】

(仏教マンガ研究) 普門寺 副住職 吉村昇洋氏
(マンガ研究) 比治山大学短期大学部美術科 久保直子氏
(仏教史研究) 公益財団法人広島市文化財団 広島城学芸員 岡野孝子氏

【日時】平成29年(2017年)3月23日(木)19:00～20:30 【会場】JMSアステールプラザ5階 視聴覚スタジオ 【定員】当日先着50名/事前申し込み不要
【入場料】無料 【主催】NPO法人広島アニメーションシティ 【協力】広島メディア芸術振興プロジェクト会議、広島市まんが図書館、手塚プロダクション
【問い合わせ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局(広島国際学院大学 情報文化学部 谷口研究室内) メール:hac-jimu@hac.or.jp 電話:082-820-2710

比治山大学
短期大学部
美術科

since 1967

美術科は本年、設立から50周年を迎えました。これまでに3700名の卒業生を送り出した美術科は、これからも広島市と協力して新しい才能を発掘、育成していきます。

50

客員教授こうの史代原作
「この世界の片隅に」

絶賛、上映拡大中
広島人必見!

マンガ・キャラクターコース

映像・アニメーションコース

メディア芸術はここから

発行日:2017年3月9日 発行部数:6000部 発行:広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
編集:NPO法人広島アニメーションシティ(HAC) デザイン:広島国際学院大学 情報文化学部 岡川研究室・藤尾 晴香・山本 千晶
【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局
〒739-0321 広島市安芸区中野6-20-1 広島国際学院大学 情報文化学部 谷口研究室内
<http://hac.or.jp> Email:hac-jimu@hac.or.jp TEL:082-820-2710/FAX:082-820-2723

メディア芸術に関する情報やご意見を募集しています